

平成 19年 3月期 第 1 四半期財務・業績の概況(連結)

平成 18年 7月 28日

上 場 会 社 名 大日本住友製薬株式会社

上場取引所 東 大 名

コード番号 4506

本社所在都道府県

(URL http://www.ds-pharma.co.jp)

大阪府

代 表 者 代表取締役社長 宮武 健次郎

問合せ先責任者 広報部長 橋本 治

TEL (06) 6203 - 1407

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ①会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(内容) 税金費用については簡便な方法により計算しております。
- ②最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成19年 3月期第1 四半期財務・業績の概況(平成 18年 4月 1日 ~ 平成 18年 6月 30日)

18年 3月期第1四半期の数値は旧大日本製薬株式会社の経営成績等を掲げております。
なお、18年 3月期の決算数値については、平成17年10月 1日(合併期日)以前の旧住友製薬株式会社の数値を含んでおりません。

(1)経営成績(連結)の進捗状況

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四半期(当期)純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第1四半期	65,273	56.3	12,174	217.0	12,459	201.1	5,554	190.9
18年 3月期第1四半期	41,750	1.2	3,841	53.6	4,138	44.4	1,909	1.5
(参考) 18年 3月期	245,783		28,885		27,235		15,377	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19年 3月期第1四半期	13	97	—	—
18年 3月期第1四半期	11	57	—	—
(参考) 18年 3月期	54	57	—	—

(注)売上高及び営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

[経営成績(連結)の進捗状況に関する定性的情報等]

(参考)単純合算による経営成績(連結)の比較

前年度第1 四半期の業績に、旧住友製薬株式会社(単体)の対応する期間の業績を単純合算した場合は以下のとおりとなります。

(注)記載金額は百万円未満を切捨てて表示

	売 上 高		営 業 利 益		経 常 利 益		四 半 期 純 利 益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19年 3月期第1四半期	65,273	△ 19.4	12,174	△ 14.3	12,459	△ 12.3	5,554	△ 44.1
18年 3月期第1四半期(単純合算)	81,001		14,212		14,202		9,940	

売上高及び営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期単純合算ベースとの増減率を示しております。

なお、合併後の当社グループの状況をより正確に理解して頂くため、以下では、単純合算ベースとの比較について記載しております。

主力4製品(アムロジン、ガスモチン、プロレナール、メロペン)の拡販を中心とした販売増加があったものの、薬価改定、アボットジャパン株式会社等との販売提携解消や工業所有権収入の減少による売上高の減少が大きく、前年同四半期比19.4%の減収となりました。

利益面につきましては、薬価改定の影響や工業所有権収入の減少により売上総利益が減少し、営業利益は前年同四半期比14.3%、経常利益は同12.3%の減益となりました。

当第1 四半期は、転進支援特別措置の実施により特別退職金を特別損失に計上したこと、前年同四半期の旧住友製薬株式会社において、事業譲渡関連益が特別利益に計上されていたことにより、特別損益は前年同四半期比較で大幅に悪化いたしました。この結果、四半期純利益は前年同四半期比44.1%の減益となりました。

(2) 財政状態(連結)の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり 純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年 3月期第1四半期	373,221	291,180	77.8	730 15
18年 3月期第1四半期	198,740	135,586	68.2	821 71
(参考) 18年 3月期	392,965	287,764	73.2	723 63

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年 3月期第1四半期	13,004	△ 5,626	△ 4,119	74,577
18年 3月期第1四半期	8,464	△ 576	△ 935	45,134
(参考) 18年 3月期	9,084	△ 10,446	△ 7,286	71,318

[財政状態(連結)の変動状況に関する定性的情報等]

①資産、負債及び純資産の状況(前期末との比較)

- ・資産の部：アボットジャパン株式会社等との販売提携解消により受取手形及び売掛金が大幅に減少したこと等により前期末に比べ197億44百万円減少しました。
- ・負債の部：資産の部と同様の理由により支払手形及び買掛金が大幅に減少したこと等により前期末に比べ、222億91百万円減少しました。
- ・純資産の部：純資産合計は2,911億80百万円となりました。
なお、自己資本比率は77.8%と前期末に比べ4.6ポイント増加しました。

②キャッシュ・フローの状況

- ・営業活動によるキャッシュ・フロー
税金等調整前四半期純利益の増加や売上債権の減少によるキャッシュの増加が法人税等の支払等を上回り、130億4百万円となりました。
- ・投資活動によるキャッシュ・フロー
預入期間が3カ月を超える定期預金等の預入による支出や有形固定資産の取得による支出等により、△56億26百万円となりました。
- ・財務活動によるキャッシュ・フロー
借入金の返済による支出や配当金の支払等により、△41億19百万円となりました。
以上の結果、当第1四半期末の現金及び現金同等物の期末残高は、前期末に比べ32億58百万円増加し、745億77百万円となりました。

[参 考]

平成19年 3月期の連結業績予想(平成 18年 4月 1日 ～ 平成 19年 3月 31日)

	予 想 売 上 高	予想経常利益	予想当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中 間 期	127,000	17,000	7,500
通 期	260,000	40,000	21,000

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 52 円 82 銭

[業績予想に関する定性的情報等]

現時点において、平成18年 5月11日に発表しました中間期及び通期の業績予想は修正しておりません。

上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。実際の業績は、今後さまざまな要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(要約)四半期連結貸借対照表

期 間 科 目	平成19年3月期 第1四半期 (平成18年6月30日)		平成18年3月期 第1四半期 (平成17年6月30日)		< 参 考 > 平成18年3月期 (平成18年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(資 産 の 部)	(373,221)	100.0	(198,740)	100.0	(392,965)	100.0
流 動 資 産	227,205	60.9	129,288	65.1	249,733	63.6
現金及び預金	56,587		42,142		60,327	
受取手形及び売掛金	89,579		56,277		114,503	
有 価 証 券	20,991		4,560		13,995	
た な 卸 資 産	43,485		18,119		44,116	
繰 延 税 金 資 産	11,124		5,080		11,126	
そ の 他	5,654		3,180		5,773	
貸 倒 引 当 金	△ 217		△ 73		△ 109	
固 定 資 産	146,015	39.1	69,451	34.9	143,232	36.4
有形固定資産	67,849	18.2	32,018	16.1	68,335	17.4
建物及び構築物	37,928		19,808		37,695	
機械装置及び運搬具	13,310		5,740		14,136	
土 地	9,988		4,499		9,988	
建設仮勘定	1,829		17		1,615	
そ の 他	4,791		1,952		4,900	
無形固定資産	6,000	1.6	3,159	1.6	5,952	1.5
投資その他の資産	72,166	19.3	34,273	17.2	68,944	17.5
投資有価証券	48,665		29,270		48,920	
繰 延 税 金 資 産	490		47		373	
そ の 他	23,428		5,343		20,073	
貸 倒 引 当 金	△ 417		△ 388		△ 423	
資 産 合 計	373,221	100.0	198,740	100.0	392,965	100.0

期 間 科 目	平成19年3月期 第1四半期 (平成18年6月30日)		平成18年3月期 第1四半期 (平成17年6月30日)		< 参 考 > 平成18年3月期 (平成18年3月31日)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	構成比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
(負 債 の 部)	(82,041)	22.0	(62,359)	31.4	(104,332)	26.6
流 動 負 債	59,912	16.1	47,414	23.9	80,070	20.4
支払手形及び買掛金	20,627		31,315		38,693	
未払法人税等	5,540		1,715		8,410	
賞与引当金	3,717		1,779		8,050	
返品調整引当金	121		54		113	
売上割戻引当金	407		763		565	
その他	29,499		11,785		24,237	
固 定 負 債	22,128	5.9	14,945	7.5	24,261	6.2
長期借入金	4,761		7,000		5,275	
長期未払金	—		1,104		—	
繰延税金負債	—		1,250		—	
退職給付引当金	12,757		5,538		14,116	
役員退職慰労引当金	43		50		59	
その他	4,565		—		4,810	
(少 数 株 主 持 分)						
少 数 株 主 持 分	—		794	0.4	869	0.2
(資 本 の 部)	(—)		(135,586)	68.2	(287,764)	73.2
資 本 金	—		13,444	6.8	22,400	5.7
資 本 剰 余 金	—		15,860	8.0	15,860	4.0
利 益 剰 余 金	—		101,877	51.2	232,485	59.2
その他有価証券評価差額金	—		7,932	4.0	17,348	4.4
自 己 株 式	—		△ 3,528	△ 1.8	△ 329	△ 0.1
負債、少数株主持分 及び資本合計	—		198,740	100.0	392,965	100.0
(純 資 産 の 部)	(291,180)	78.0	—		—	
株 主 資 本	273,126	73.2	—		—	
資 本 金	22,400	6.0	—		—	
資 本 剰 余 金	15,860	4.3	—		—	
利 益 剰 余 金	235,214	63.0	—		—	
自 己 株 式	△ 347	△ 0.1	—		—	
評 価 ・ 換 算 差 額 等	17,179	4.6	—		—	
その他有価証券評価差額金	17,179	4.6	—		—	
少 数 株 主 持 分	874	0.2	—		—	
負債及び純資産合計	373,221	100.0	—		—	

(要約) 四半期連結損益計算書

期 間 科 目	平成19年3月期 第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日		平成18年3月期 第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日		< 参 考 > 平成18年3月期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	百分比
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
売 上 高	65,273	100.0	41,750	100.0	245,783	100.0
売 上 原 価	24,610	37.7	25,569	61.2	130,444	53.1
売 上 総 利 益	40,662	62.3	16,181	38.8	115,339	46.9
返品調整引当金繰入額	8	0.0	△ 10	△0.0	△ 7	△0.0
差 引 売 上 総 利 益	40,653	62.3	16,192	38.8	115,347	46.9
販売費及び一般管理費	28,479	43.6	12,351	29.6	86,461	35.1
営 業 利 益	12,174	18.7	3,841	9.2	28,885	11.8
営 業 外 収 益	724	1.1	592	1.4	1,726	0.7
営 業 外 費 用	439	0.7	294	0.7	3,377	1.4
経 常 利 益	12,459	19.1	4,138	9.9	27,235	11.1
特 別 利 益	—	—	—	—	4,422	1.8
投資有価証券売却益	—	—	—	—	1,852	—
固定資産売却益	—	—	—	—	1,788	—
厚生年金基金代行部分返上益	—	—	—	—	781	—
特 別 損 失	2,938	4.5	524	1.2	5,970	2.4
特 別 退 職 金	2,938	—	—	—	—	—
合 併 関 連 費 用	—	—	524	—	5,794	—
事業整理に伴う損失	—	—	—	—	176	—
税金等調整前四半期 (当期)純利益	9,520	14.6	3,613	8.7	25,687	10.5
法 人 税 等	3,949	6.1	1,688	4.1	10,239	4.2
少 数 株 主 利 益	16	0.0	15	0.0	70	0.0
四半期(当期)純利益	5,554	8.5	1,909	4.6	15,377	6.3

四半期連結株主資本等変動計算書

当第1四半期（自平成18年4月1日至平成18年6月30日）

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
	百万円	百万円	百万円	百万円	百万円
前期末残高	22,400	15,860	232,485	△ 329	270,415
当四半期変動額					
剰余金の配当	—	—	△ 2,783	—	△ 2,783
取締役賞与	—	—	△ 42	—	△ 42
四半期純利益	—	—	5,554	—	5,554
自己株式の処分	—	0	—	0	0
自己株式の取得	—	—	—	△ 18	△ 18
株主資本以外の項目の 当四半期変動額（純額）	—	—	—	—	—
当四半期変動額合計	—	0	2,728	△ 18	2,710
当四半期末残高	22,400	15,860	235,214	△ 347	273,126

	評価・換算差額等		少数株主持分	純資産合計
	その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計		
	百万円	百万円	百万円	百万円
前期末残高	17,348	17,348	869	288,633
当四半期変動額				
剰余金の配当	—	—	—	△ 2,783
取締役賞与	—	—	—	△ 42
四半期純利益	—	—	—	5,554
自己株式の処分	—	—	—	0
自己株式の取得	—	—	—	△ 18
株主資本以外の項目の 当四半期変動額（純額）	△ 168	△ 168	4	△ 163
当四半期変動額合計	△ 168	△ 168	4	2,546
当四半期末残高	17,179	17,179	874	291,180

四半期連結剰余金計算書

科 目	期 間	< 参 考 > 平成18年3月期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
	平成18年3月期 第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	金 額
	百万円	百万円
(資 本 剰 余 金 の 部)		
資本剰余金期首残高	15,860	15,860
資本剰余金増加高	—	—
資本剰余金減少高	—	—
資本剰余金四半期末(期末)残高	15,860	15,860
(利 益 剰 余 金 の 部)		
利益剰余金期首残高	100,821	100,821
利益剰余金増加高	1,909	138,124
四半期(当期)純利益	1,909	15,377
合併に伴う増加高	—	122,747
利益剰余金減少高	853	6,461
配 当 金	825	1,649
役 員 賞 与	28	28
(うち監査役分)	(8)	(8)
合併交付金	—	2,886
連結範囲の変更に伴う減少高	—	278
自己株式処分差損	0	1,617
利益剰余金四半期末(期末)残高	101,877	232,485

(要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

期 間 科 目	平成19年3月期 第1四半期 自平成18年4月1日 至平成18年6月30日	平成18年3月期 第1四半期 自平成17年4月1日 至平成17年6月30日	< 参 考 > 平成18年3月期 自平成17年4月1日 至平成18年3月31日
	金 額	金 額	金 額
	百万円	百万円	百万円
税金等調整前四半期（当期）純利益	9,520	3,613	25,687
減価償却費	2,859	1,141	8,900
退職給付引当金の増減額	△ 1,765	△ 294	△ 1,151
受取利息及び受取配当金	△ 355	△ 222	△ 518
支払利息	22	15	90
投資有価証券売却損益	—	△ 10	△ 1,852
売上債権の増減額	24,923	11,127	△ 4,218
たな卸資産の増減額	631	△ 1,902	△ 3,348
仕入債務の増減額	△ 18,066	△ 1,042	△ 143
その他	1,834	△ 179	△ 2,066
小 計	19,604	12,246	21,379
利息及び配当金の受取額	356	224	528
利息の支払額	△ 3	△ 2	△ 66
法人税等の支払額	△ 6,952	△ 4,004	△ 12,756
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,004	8,464	9,084
定期預金等の預入による支出	△ 4,000	—	△ 8,013
有形固定資産の取得による支出	△ 1,960	△ 254	△ 4,572
投資有価証券の取得による支出	△ 2	△ 3	△ 1,572
投資有価証券の売却による収入	—	41	2,886
短期貸付金純増減額	1,000	—	△ 1,100
その他	△ 663	△ 359	1,925
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,626	△ 576	△ 10,446
短期借入金純増減額	△ 900	△ 200	△ 670
長期借入金の返済による支出	△ 514	—	△ 1,917
自己株式の増減額	△ 18	△ 20	△ 155
配当金の支払額	△ 2,679	△ 707	△ 1,650
少数株主への配当金の支払額	△ 7	△ 7	△ 7
合併交付金の支払額	—	—	△ 2,886
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,119	△ 935	△ 7,286
現金及び現金同等物の増減額	3,258	6,952	△ 8,648
現金及び現金同等物の期首残高	71,318	38,182	38,182
合併に伴う現金及び現金同等物の増加額	—	—	42,235
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	—	—	△ 449
現金及び現金同等物の四半期末（期末）残高	74,577	45,134	71,318

セグメント情報

1. 事業の種類別セグメント情報

平成19年3月期第1四半期（自平成18年4月1日至平成18年6月30日）（単位：百万円）

事業 項目	医薬品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益 売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	51,676	13,596	65,273	—	65,273
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	51,676	13,596	65,273	—	65,273
営業費用	39,863	13,234	53,098	—	53,098
営業利益	11,813	361	12,174	—	12,174

平成18年3月期第1四半期（自平成17年4月1日至平成17年6月30日）（単位：百万円）

事業 項目	医薬品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益 売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	28,946	12,804	41,750	—	41,750
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	230	230	(230)	—
計	28,946	13,035	41,981	(230)	41,750
営業費用	25,437	12,703	38,140	(230)	37,909
営業利益	3,509	332	3,841	—	3,841

< 参考 >

平成18年3月期（自平成17年4月1日至平成18年3月31日）（単位：百万円）

事業 項目	医薬品	その他	計	消去又は 全社	連結
売上高及び営業損益 売上高					
(1)外部顧客に対する売上高	192,601	53,181	245,783	—	245,783
(2)セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	528	528	(528)	—
計	192,601	53,710	246,312	(528)	245,783
営業費用	164,852	52,574	217,427	(528)	216,898
営業利益	27,749	1,136	28,885	—	28,885

(注) 1 事業区分は、製品の種類と当社グループの内部管理上の事業区分に基づいて「医薬品」及び「その他」にセグメンテーションしております。

2 各事業の主な製商品

事業区分	主な製商品
医薬品	医療用医薬品、一般用医薬品
その他	動物用医薬品、飼料・飼料添加物 食品添加物、診断用薬等

3 従来、当社グループの事業区分は、製品の種類、販売市場の類似性を考慮し、「医薬品」、「動物関連」及び「その他」の3区分にセグメンテーションしておりましたが、平成17年10月1日の住友製薬株式会社との合併に伴い、平成18年3月期第3四半期より、「医薬品」と「その他」の2区分にセグメンテーションすることに変更しました。この変更は、合併により全体に占める「動物関連」事業の金額的な重要性が低下したこと及び内部管理上採用する事業区分に変更することにより、当社グループにおける事業内容をよりの確に反映した情報を開示できると判断したことによるものであります。この変更に伴い、従来の「動物関連」事業は「その他」事業に含めて表示することとし、また、「医薬品」事業のうち、診断用薬事業については「その他」事業に含めて表示しております。

また、従来、営業費用において「消去又は全社」の項目に含めておりました当社本社の総務、財務関連費用等の配賦不能費用について各セグメントに配賦する方法に変更しております。この変更は、各セグメント別の費用負担関係、資産帰属を明確にし、各セグメントの営業損益、資産規模をよりの確に反映させることを目的に行ったものであります。

なお、上に掲げた平成18年3月期第1四半期の各数値につきましては変更後の区分及び配賦方法による結果に組み替えて記載しております。

2. 所在地別セグメント情報

在外連結子会社及び重要な在外支店がありませんので、記載していません。

3. 海外売上高

連結売上高の10%未満でありますので、記載していません。

平成19年3月期 第1四半期業績 補足資料

注) 本資料の数字は億円未満を四捨五入し表示しています。四捨五入のため、合計数字に差異が生じる場合があります。

平成19年3月期第1四半期の増減率は、平成18年3月期第1四半期(単純合算)との比較です。

I. 連結損益の状況

1. 損益計算書項目

(億円)

	平成18年3月期	平成18年3月期	平成19年3月期	増減率%
	第1四半期	第1四半期 (単純合算)	第1四半期	
売上高	418	810	653	△ 19.4
売上原価	256	376	246	△ 34.5
売上総利益	162	434	407	△ 6.4
販売費及び一般管理費	124	292	285	△ 2.5
(うち研究開発費)	38	98	96	△ 2.3
営業利益	38	142	122	△ 14.3
営業外収益	6	8	7	△ 5.1
営業外費用	3	8	4	△ 43.2
経常利益	41	142	125	△ 12.3
特別利益	-	43	-	-
特別損失	5	9	29	211.7
税金等調整前四半期純利益	36	175	95	△ 45.6
法人税等	17	76	39	△ 47.7
少数株主利益	0	0	0	4.6
四半期純利益	19	99	56	△ 44.1

・アボット ジャパン(株)等
販売提携解消による影響
・薬価改定の影響
・工業所有権収入の減少

・薬価改定の影響
・工業所有権収入の減少

・事業譲渡関連益: 43
(前四半期)

・合併関連費用: 9
(前四半期)
・特別退職金: 29
(当四半期)

* 売上原価には返品調整引当金繰入(戻入)額を含めて記載しております。

1株当たり四半期純利益(円) 11円57銭 13円97銭

(参考)業績予想

(億円)

	平成18年9月中間期予想		平成19年3月期予想	
		増減率%		増減率%
売上高	1,270	△ 19.2	2,600	△ 18.3
営業利益	175	△ 29.4	410	△ 8.2
経常利益	170	△ 27.5	400	△ 5.2
当期純利益	75	△ 46.0	210	△ 16.9

* 本年5月に公表した業績予想は変更してありません。

* 増減率は単純合算による前年同期との比較です。

2. 主要製品の販売状況

国内売上高

(リベート控除前、億円)

品 目 [薬 効]	平成18年3月期 第1四半期	平成18年3月期	平成19年3月期 第1四半期	平成19年3月期 予想
ア ム ロ ジ ン [高血圧症・狭心症治療薬]	147	568	140	570
ガ ス モ チ ン [消化管運動機能改善剤]	39	163	45	200
メ ロ ペ ン [カルバペネム系抗生物質製剤]	35	141	36	140
プ ロ レ ナ ー ル [末梢循環改善剤]	30	126	35	145
エ バ ス テ ル [持続性抗アレルギー剤]	24	113	24	110
ス ミ フ ェ ロ ン [天然型インターフェロン-α製剤]	15	60	16	61
キ ュ バ ー ル [吸入ステロイド喘息治療剤]	9	42	13	54
グ ロ ウ ジ ェ ク ト [ヒト成長ホルモン製剤]	13	49	13	50
グ リ ミ ク ロ ン [経口血糖降下剤]	13	47	12	45
ド ブ ス [ノルエピネフリン作動性 神経機能改善剤]	12	47	12	43
タ ガ メ ッ ト [H ₂ 受容体拮抗剤]	12	46	11	35
エ ク セ グ ラ ン [抗てんかん剤]	9	36	9	35
ア ル マ ー ル [高血圧症・狭心症・不整脈 治療剤]	10	37	9	33
ル ー ラ ン [抗精神病剤]	8	30	8	33
セ デ ィ ー ル [セロトニン作動性抗不安薬]	8	31	8	28

輸出高

(億円)

品 目 [薬 効]	平成18年3月期 第1四半期	平成18年3月期	平成19年3月期 第1四半期	平成19年3月期 予想
メ ロ ペ ネ ム [カルバペネム系抗生物質製剤]	42	129	44	141
モ サ プ リ ド [消化管運動機能改善剤]	3	9	3	10
ゾ ニ サ ミ ド [抗てんかん剤]	7	24	1	7
その他	2	6	2	7
輸出合計	53	168	50	165

Ⅱ. 連結貸借対照表

[資産の部]

(億円)

科 目	平成17年 6月30日	平成18年 3月31日	平成18年 6月30日	対前期末 増減
[資 産 の 部]	1,987	3,930	3,732	△ 197
(流動資産)	1,293	2,497	2,272	△ 225
現金及び預金	421	603	566	△ 37
受取手形及び売掛金	563	1,145	896	△ 249
有 価 証 券	46	140	210	70
た な 卸 資 産	181	441	435	△ 6
繰 延 税 金 資 産	51	111	111	△ 0
そ の 他	32	58	57	△ 1
貸 倒 引 当 金	△ 1	△ 1	△ 2	△ 1
(固定資産)	695	1,432	1,460	28
有形固定資産	320	683	678	△ 5
建 物 及 び 構 築 物	198	377	379	2
機 械 装 置 及 び 運 搬 具	57	141	133	△ 8
土 地	45	100	100	-
建 設 仮 勘 定	0	16	18	2
そ の 他	20	49	48	△ 1
無形固定資産	32	60	60	0
投資その他の資産	343	689	722	32
投 資 有 価 証 券	293	489	487	△ 3
繰 延 税 金 資 産	0	4	5	1
そ の 他	53	201	234	34
貸 倒 引 当 金	△ 4	△ 4	△ 4	0
資 産 合 計	1,987	3,930	3,732	△ 197

・アホットジャパン(株)等
販売提携解消による
影響

・運用手段の多様化
CP、長期性預金へ
振替

[負債、少数株主持分及び資本の部][負債及び純資産の部] (億円)

科 目	平成17年 6月30日	平成18年 3月31日	平成18年 6月30日	対前期末 増減
[負 債 の 部]	624	1,043	820	△ 223
(流動負債)	474	801	599	△ 202
支払手形及び買掛金	313	387	206	△ 181
未払法人税等	17	84	55	△ 29
賞与引当金	18	81	37	△ 43
返品調整引当金	1	1	1	0
売上割戻引当金	8	6	4	△ 2
そ の 他	118	242	295	53
(固定負債)	149	243	221	△ 21
長期借入金	70	53	48	△ 5
繰延税金負債	13	-	-	-
退職給付引当金	55	141	128	△ 14
役員退職慰労引当金	1	1	0	△ 0
そ の 他	11	48	46	△ 2
[少 数 株 主 持 分]	8	9	-	
[資 本 の 部]	1,356	2,878	-	
(資本金)	134	224	-	
(資本剰余金)	159	159	-	
(利益剰余金)	1,019	2,325	-	
(その他有価証券評価差額金)	79	173	-	
(自己株式)	△ 35	△ 3	-	
負債、少数株主持分 及び資本 合計	1,987	3,930	-	
[純 資 産 の 部]	-	-	2,912	
(株主資本)	-	-	2,731	
資 本 金	-	-	224	
資 本 剰 余 金	-	-	159	
利 益 剰 余 金	-	-	2,352	
自 己 株 式	-	-	△ 3	
(評価・換算差額等)	-	-	172	
そ の 他 有 価 証 券 評 価 差 額 金	-	-	172	
(少数株主持分)	-	-	9	
負債及び純資産 合計	-	-	3,732	

・賞与確定額を引当金から
未払費用へ振替

Ⅲ. 開発状況表

・ 国内で開発中の品目

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
申請中	SMP-536 注射剤	アガルシダーゼアル ファ agalsidase alfa	ファブリー病治療剤	Shire 社(旧 Transkaryotic Therapies 社)からの導入 品
	AD-5423 経口剤	ブロナンセリン blonanserin	統合失調症治療剤	自社開発品
申請中 新効能	AD-810N 経口剤	ゾニサミド zonisamide	適応症追加 (パーキンソン病)	自社開発品 別銘柄申請 既承認適応症:てんかん (製品名:エクセグラン)
申請中 新投与経路	エフェドリン「ナ ガキ」 EPHEDRINE NAGAI 注射剤	塩酸エフェドリン ephedrine hydrochloride	静脈内投与 適応症:麻酔管理時 の血圧降下	既承認投与経路は皮下 投与 3社共同申請

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
第Ⅲ相 新効能	スミフェロン SUMIFERON 注射剤	インターフェロンア ルファ (NAMALWA) interferon- α (NAMALWA)	適応症追加(肝硬 変)	GlaxoSmithKline 社からの 導入品 既承認適応症:C型慢性 肝炎、腎癌 他
	メロペン MEROPEN (SM-7338) 注射剤	メロペネム三水和物 meropenem trihydrate	適応症追加 (発熱性好中球減少 症)	自社開発品 既承認適応症:種々の細 菌による中等度以上の感 染症

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
第Ⅱ相	AS-3201 経口剤	ラニレスタット ranirestat	糖尿病合併症治療 剤	自社開発品 キョーリン製薬との共同開 発
	SM-11355 注射剤	ミリプラチン水和物 miriplatin hydrate	肝細胞癌治療剤	自社開発品
	SM-13496 経口剤	ルラシドン lurasidone	統合失調症治療剤	自社開発品
	SMP-114 経口剤	未定	リウマチ治療剤	自社開発品
	SMP-508 経口剤	レパグリニド repaglinide	糖尿病治療剤	Novo Nordisk 社からの導 入品
	SMP-862 経口剤	塩酸メトホルミン metformin hydrochloride	糖尿病治療剤	Merck Sante 社からの導 入品
	AC-5216 経口剤	未定	不安・うつ病治療剤	自社開発品
第Ⅱ相 新効能	ガスモチン GASMOTIN 経口剤	クエン酸モサプリド mosapride citrate	適応症追加 (胃切除後症候群)	自社開発品 既承認適応症:慢性胃炎 に伴う消化器症状(胸や け、悪心・嘔吐)
	プロレナール PRORENAL 経口剤	リマプロスト アルファデクス limaprost alfadex	適応症追加 (頸椎症)	小野薬品との共同開発 既承認適応症:閉塞性血 栓血管炎、腰部脊柱管狭 窄症による諸症状

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
第Ⅰ相	AC-3933 経口剤	未定	認知症治療剤	自社開発品
	SMP-797 経口剤	未定	高コレステロール血 症治療剤	自社開発品

【平成 18 年 5 月決算発表時点からの主な変更点】

アムビゾーム (SM-26000) 発売したため削除
メロペン (SM-7338) 第Ⅲ相準備中から第Ⅲ相に変更

・ 海外で自社開発中の品目

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
第Ⅲ相	AS-3201 経口剤	ラニレスタット ranirestat	糖尿病合併症治療 剤	自社開発品 米国・カナダ:第Ⅲ相

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
第Ⅱ相	SMP-114 経口剤	未定	抗リウマチ剤	自社開発品 欧州:後期第Ⅱ相
	AD-5423 経口剤	ブロナンセリン blonanserin	統合失調症治療剤	自社開発品 欧州:第Ⅱ相 米国:第Ⅱ相
	AC-3933 経口剤	未定	認知症治療剤	自社開発品 欧州:前期第Ⅱ相終了 米国:前期第Ⅱ相
	SMP-797 経口剤	未定	高コレステロール血 症治療剤	自社開発品 欧州:前期第Ⅱ相

開発段階	製品/コード名 剤型	一般名	薬効分類または 追加予定適応症等	備考
第Ⅰ相	SMP-986 経口剤	未定	頻尿・尿失禁治療剤	自社開発品 欧州:第Ⅰ相
	SMP-028 経口剤	未定	気管支喘息治療剤	自社開発品 米国:第Ⅰ相

【平成 18 年 5 月決算発表時点からの主な変更点】

なし

・ 海外導出品の開発状況

一般名／コード名 (日本での販売名)	薬効分類	開発状況
AC-5216	不安・うつ病治療剤	2002年2月、Novartis社に日本、韓国、台湾、中国を除く全世界の開発・販売権をライセンス 同社が米国・カナダで前期第Ⅱ相試験実施中
AG-7352	抗癌剤	2003年10月、Sunesis社に全世界の独占的開発権をライセンス、同社が第Ⅱ相試験実施中(同社開発コード:SNS-595)
SMP-601	重症感染症治療剤	2005年5月、Protez Pharmaceuticals社へ欧米での開発・販売権をライセンス 同社が米国で臨床試験を準備中
ルラシドン SM-13496	統合失調症治療剤	2005年6月、Merck社に日本、韓国、台湾、中国を除く全世界の開発・販売権をライセンス 同社が米国で臨床試験実施中
塩酸アムルピシン (カルセド)	抗癌剤	2005年6月、Cabrellis社(旧 Conforma社)へ欧米での開発・販売権をライセンス 同社が欧米で第Ⅱ相試験を実施中
ラニレスタット AS-3201	糖尿病合併症治療剤	2005年9月エーザイに日本を除く全世界の開発・販売権をライセンス 大日本住友が現在実施中の米国・カナダでの第Ⅲ相試験以降の開発をエーザイが引き継ぐ

【平成18年5月決算発表時点からの主な変更点】

塩酸アムルピシン

Cabrellis社(旧 Conforma社)が欧州で第Ⅱ相試験を開始

以上